

SAP.C_S4CPB_2508.v2026-03-11.q42

試験コード : C_S4CPB_2508

試験名称 : SAP Certified Associate - Implementation Consultant - SAP S/4HANA Cloud Public Edition

認証ベン
ダー : SAP

無料問題の
数 : 42

バージョン : v2026-03-11

ページの閲覧
量 : 104

問題集の閲覧
量 : 435

https://www.jpnsiken.com/shiken/SAP.C_S4CPB_2508.v2026-03-11.q42.html

質問: 1

SAP S/4HANA Cloud Public Edition にデータを移行するにはどうすればよいですか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. ゼロダウンタイムサービス
- B. XMLまたはCSVテンプレートを使用
- C. 別のSAP HANAデータベースを使用する場合
- D. Core Data Services を使用する場合

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANA Migration Cockpit を使用すると、SAP S/4HANA Cloud Public Edition にデータを移行できます。このツールは、SAP または非 SAP のレガシーシステムからターゲットシステムへのデータ移行を複数の方法で実行できます¹。SAP S/4HANA Migration Cockpit は、以下の移行方法をサポートしています²。

* XMLまたはCSVテンプレートを使用 XMLまたはCSV形式の事前定義テンプレートを使用してソースデータを入力し、SAP S/4HANA Cloudシステムのステージングテーブルにアップロードできます。テンプレートは、マスタデータ、トランザクションデータ、設定データなど、最も一般的なビジネスデータをカバーする事前定義済みの移行オブジェクトに基づいています。テンプレートはSAP S/4HANA Cloudからダウンロードできます。

/4HANA Migration Cockpit または SAP Best Practices Explorer からアクセスできます。

* 独立したSAP HANAデータベースを使用する場合 : 独立したSAP HANAデータベースをステージング領域として使用し、ソースデータを保存してSAP S/4HANA Cloudシステムに転送できます。任意のツールや方法を使用して、レガシーシステムからソースデータを抽出し、SAP HANAデータベースにロードできます。

事前定義された移行オブジェクトを使用することも、移行オブジェクト モデラーを使用して独自のカスタム オブジェクトを作成することもできます。

* SAP ERPシステムから直接 :SAP ERPシステムをSAP S/4HANA Cloudシステムに接続し、ステージングエリアを使用せずにソースデータを直接転送できます。事前定義された移行オブジェクトを使用することも、移行オブジェクトモデラーを使用して独自のカスタムオブジェクトを作成することもできます。

この方法では、SAP ERP システムに SAP S/4HANA Migration Cockpit アドオンをインストールする必要があります。

ゼロダウンタイムサービスとコアデータサービスを使用する他の2つのオプションは、SAP S/4HANA Cloud Public Editionへのデータ移行には有効な方法ではありません。ゼロダウンタイムサービスは、最小限のダウンタイムでSAP S/4HANAシステムをアップグレードできるツールですが、データ移行には使用されません³。コアデータサービス (CDS)は、セマンティックリッチなデータモデルを定義および利用するためのドメイン固有言語とサービスのセットですが、データ移行には使用されません⁴。参考資料 = SAP S/4HANA Cloud Public Editionへのデータ移行、SAP S/4HANA Migration Cockpitを使用したデータ移行、SAP S/4HANA向けゼロダウンタイムサービス、コアデータサービス (CDS)

質問: 2

SAP Central Business Configuration の設定アクティビティに入力された値を収集するには何を使用しますか？

- A. SAP Cloud ALM 要件アプリ
- B. SAP Cloud ALM プロセスアプリ
- C. ソリューションプロセスの可用性と依存関係 Excel
- D. ビジネス主導構成アンケート

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 3

統合要件が確定した後、統合戦略を分析、設計、文書化するために何が使用されますか？

- A. 統合ソリューションアドバイザリ方法論
- B. 統合とAPIリスト
- C. SAP Cloud ALM 要件アプリ
- D. SAP ビジネスアクセラレータハブ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 4

顧客が環境、社会、ガバナンス (ESG) データを理解するのに役立つように設計されたソリューションはどれですか？

- A. SAP サステナビリティ コントロールタワー
- B. SAP の責任ある設計と製造
- C. SAPグリーントークン
- D. SAP サステナビリティフットプリント管理

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Sustainability Control Towerは、お客様がESGデータを記録、報告し、それに基づいて行動することを可能にするクラウドベースのソリューションです。企業全体およびバリューチェーン全体のESGパフォーマンスを包括的かつ一貫した視点で把握できます。また、グローバル標準およびフレームワークに基づいた、自動化、監査可能、かつコンプライアンス遵守が可能なレポート作成もサポートします。SAP Sustainability Control Towerは、お客様がサステナビリティをコアビジネスプロセスに組み込み、サステナビリティ目標をサポートするバランスの取れた意思決定を行うのに役立ちます。参考資料 :SAP S/4HANA Cloud、パブリックエディション - すべてのラーニングジャーニー > SAP S/4HANAの実装 /4HANA Cloud Public Edition > ユニット3 :サステナビリティとESGレポート > トピック 3.1 :SAP Sustainability Control Towerの概要。SAP Cloud for Sustainable Enterprises : 共に行動を起こす。SAP Sustainability Control Tower :ESGのためのデータ基盤。

質問: 5

カスタム拡張をホストするために SAP Business Technology Platform が使用される拡張性のタイプは何ですか？

- A. クラシックな拡張性
- B. キーユーザーの拡張性
- C. 開発者の拡張性
- D. サイドバイサイド拡張性

正解: **D** ([コメントを发表する](#))

質問: 6

2025 年 2 月の 2 番目の機能配信の正しいリリース コードは何ですか？

- A. 2025.2.2
- B. 2025.2
- C. 2522
- D. 2502.2

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANA Cloud Public EditionのリリースコードはYYYY.MM.Xの形式です。YYYYは年、MMは月、Xは機能提供番号です。最初の機能提供は常に2月に、2番目の機能提供は常に5月に行われます。したがって、2025年2月の2番目の機能提供のリリースコードは2502.2となります。参考資料 :リリースアップグレードのナビゲート、SAP S/4HANA Cloud、Public Edition 2308リリース

質問: 7

SAP が顧客に代わってアップグレード後テスト (PUT) を実行することを妨げるのは次のどれですか。

注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 実行バリエーションが維持されていません。
- B. 削除対象としてマークされたデータが実行のために選択されます。

C. プロセスステップの順序が変更されました。

D. テストプロセスは実行事前チェックに失敗しました。

正解: ([正解を表示します](#))

次の場合、SAP が顧客に代わってアップグレード後テスト (PUT) を実行できなくなります。

* 実行バリエーションがメンテナンスされていません：実行バリエーションとは、テストプロセスの実行に使用されるテストデータのセットです。実行バリエーションには、各テストステップの入力値と期待される結果が含まれています。テストプロセスの実行バリエーションがメンテナンスされていない場合、システムはテストを自動的に実行できず、スキップされます¹。

* テストプロセスが実行前チェックに失敗しました：実行前チェックとは、テスト実行前に実行される検証であり、テストプロセスと実行バリエーションの整合性と完全性を確認するためのものです。実行前チェックに失敗した場合、テストプロセスまたは実行バリエーションに何らかの問題またはギャップがあり、テストを実行する前に解決する必要があることを意味します²。

以下の場合、SAP が顧客に代わってアップグレード後テスト (PUT) を実行することを妨げることはありません。

* 削除対象としてマークされたデータは実行のために選択されます。削除対象としてマークされたデータは、テストプロセスに関連しなくなった、または有効ではなくなったデータです。顧客またはSAPによって削除対象としてマークされる場合があります。ただし、システムは削除対象としてマークされたデータを無視し、利用可能なデータをテストプロセスで使用するため、テスト実行には影響しません³。

* プロセスステップの順序が変更されました：プロセスステップとは、テストプロセスの一部として実行される個々のアクションです。ビジネスプロセスまたはユーザーインターフェースの変更を反映するために、顧客またはSAPによって順序が変更されることがあります。ただし、システムはテストプロセス⁴で定義されたプロセスステップの順序に従うため、テストの実行には影響しません。

参照 = [SAP S/4HANA Cloud Public Edition - 実行バリエーション]、[SAP S/4HANA Cloud Public Edition - 実行事前チェック]、[SAP S/4HANA Cloud Public Edition - 削除対象としてマークされたデータ]、[SAP S/4HANA Cloud パブリック エディション - プロセス手順]。

質問: 8

リリースアップグレード後にはどのような種類のテストを行う必要がありますか？

A. 文字列テスト

B. 回帰テスト

C. 統合テスト

D. ユーザー受け入れテスト

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 9

顧客のユーザー受け入れテスト用に作成された手動テストケースはどこにありますか？

- A. テスト自動化ツール
- B. SAP Signavio プロセスナビゲータ
- C. SAP クラウド ALM
- D. SAP ソリューション マネージャー

正解: [\(正解を表示します\)](#)

顧客のユーザ受け入れテスト用の手動テストケースは、SAP S/4HANA Cloud Public Edition の実装をサポートするクラウドベースのアプリケーションライフサイクル管理ソリューションである SAP Cloud ALM で作成されます。SAP Cloud ALM は、コンサルタントが手動テストケースと自動テストケースの両方のすべてのテスト活動を一箇所で文書化および追跡できるテスト管理アプリを提供します。手動テストケースは、最終的なソリューションスコープ (ビジネスプロセス) に基づいてテスト準備アプリで作成され、テスト計画アプリでテスト計画に割り当てられます。SAP Cloud ALM は、SAP S/4HANA Cloud テストシステムおよびサードパーティのテストプロバイダーとも統合され、自動テストケースを実行および監視します。参考資料 = ユーザ受け入れテスト用のテストケースの準備、テスト戦略の説明、ユーザ受け入れテストテンプレート

質問: 10

2025 年 2 月の 2 番目の機能配信の正しいリリース コードは何ですか？

- A. 2522
- B. 2502.2
- C. 2025.2
- D. 2025.2.2

正解: **B** ([コメントを发表する](#))

質問: 11

SAP Activate 方法論に基づいて、探索フェーズでどのアクティビティを実行する必要がありますか？ 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 組織構造と勘定科目の体系を定義します。
- B. デジタル検出評価を実施して、拡張要件を特定します。
- C. テスト システムを使用して、SAP Best Practice プロセスをデモンストレーションします。
- D. 標準に適合する分析を実行して構成値を収集します。

正解: **C,D** ([コメントを发表する](#))

質問: 12

SAP Best Practices コンテンツが利用できない場合、パッケージ化された統合コンテンツはどこにありますか？

- A. SAP ビジネスアクセラレータハブ

- B. SAP Fiori アプリ リファレンス ライブラリ
- C. SAP 拡張性エクスプローラー
- D. SAP BTP コックピット

正解: A ([コメントを发表する](#))

特定の統合シナリオに対応するSAP Best Practicesコンテンツがない場合は、SAP Business Accelerator Hubでパッケージ化された統合コンテンツを見つけることができます。SAP Business Accelerator Hubは、API、イベント、統合フロー、アダプタなど、SAPおよび非SAPアプリケーションの統合コンテンツを一元的に管理するリポジトリです。ニーズに合った統合コンテンツを参照、検索、ダウンロードし、SAP Integration Suiteテナントにインポートできます。また、SAP Business Accelerator Hubを使用して、新しい統合コンテンツをリクエストしたり、既存のコンテンツに関するフィードバックを提供したりすることもできます。参考資料 = SAP S/4HANA Cloud Public Editionでの統合の設定、SAP Business Accelerator Hub

質問: 13

特定のアプリケーションへのアクセスのみを許可されたエンドユーザーにビジネスロールを割り当てました。ある日の休日に、そのアプリケーションがユーザーのランチパッドに表示されないことが判明しました。

ユーザーは何ができるでしょうか？

- A. 検索機能を使用してアプリを見つけます。
- B. ページを作成し、それを Launchpad スペースに割り当てます。
- C. アクセスを提供する別のビジネス ロールを割り当てます。
- D. ビジネス ロールにランチパッド スペースを割り当てます。

正解: A ([コメントを发表する](#))

質問: 14

開発者以外のユーザーがローコード/ノーコードの拡張機能を作成できるようにするツールは何ですか？ 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. SAPビルド
- B. SAP Fiori拡張アプリ
- C. SAP クラウド SDK
- D. SAP ビジネス アプリケーション スタジオ

正解: A,D ([コメントを发表する](#))

質問: 15

SAP S/4HANA 移行コックピットの特徴は何ですか？ 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. ローカルスキーマとリモートスキーマのアプローチを1つの移行プロジェクトに統合する
- B. 移行プロセスのガイダンスとシミュレーション

- C. ソース値をSAP S/4HANAターゲット値にマッピングする
D. レガシーシステム移行ワークベンチを使用した拡張性
正解: B,C ([コメントを发表する](#))

質問: 16

間接的なデジタルアクセスの例は次のどれですか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 業界アプリケーションを通じて作成された欠陥文書
B. SAP Build Process Automation の無人ボット
C. サードパーティアプリケーションからのタイムシートレコード
D. SAP以外のフロントエンドで作成された製造オーダー

正解: ([正解を表示します](#))

間接デジタルアクセスとは、人間、デバイス、またはシステムが、SAP以外の中間ソフトウェア \$SAP以外のフロントエンド、カスタムソリューション、その他のSAP以外のアプリケーションなど)を介してデジタルコアを間接的に使用する場合を指します¹。間接デジタルアクセスは、間接的な使用の結果としてSAPシステムで作成、更新、または削除された文書の数によって測定されます²。間接デジタルアクセスの例としては、以下が挙げられます。

* 業界アプリケーションを通じて作成された欠陥文書: 業界アプリケーションは SAP システムで文書の作成をトリガーする非 SAP ソフトウェアであるため、これは間接デジタルアクセスの例です。

* サードパーティ アプリケーションからのタイムシート レコード: サードパーティ アプリケーションは SAP システムでドキュメントの作成をトリガーする非 SAP ソフトウェアであるため、これも間接デジタル アクセスの例です。

* SAP Build Process Automation の無人ボット: ボットは SAP 以外の中間ソフトウェアを介さずに SAP ソフトウェアを使用して SAP システムに直接アクセスするため、これは間接デジタル アクセスの例ではありません。

* SAP以外のフロントエンドで作成された製造指図: 製造指図は間接デジタルアクセスの対象となる文書タイプではないため、これは間接デジタルアクセスの例ではありません。対象となる文書タイプは、受注書、請求書、購買発注、サービス 保守文書、製造文書、品質管理文書、タイムシート、財務文書、入庫伝票です。² 参考資料 :デジタルアクセス | SAPヘルプポータル、SAP Digital Access / SAP Digital Access Adoption Program (DAAP) の2021年12月31日までの延長

有効的なC_S4CPB_2508問題集はJPNTest.com提供され、C_S4CPB_2508試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新C_S4CPB_2508試験問題集を提供します。JPNTest.com C_S4CPB_2508試験問題集はもう更新されました。ここでC_S4CPB_2508問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセ

ス、https://www.jpntest.com/shiken/C_S4CPB_2508-mondaishu 60問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 17

既知の統合の初期リストはどこに文書化されていますか？

- A. SAP Cloud ALM の場合
- B. デジタルディスカバリー評価において
- C. 標準適合ワークショップ
- D. ビジネス主導構成アンケート

正解: B ([コメントを发表する](#))

質問: 18

SAP が顧客に代わってアップグレード後テスト (PUT) を実行することを妨げるのは次のどれですか。注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 削除対象としてマークされたデータが実行対象として選択されます。
- B. プロセスステップの順序が変更されました。
- C. 実行バリエーションが維持されていません。
- D. テストプロセスは実行事前チェックに失敗しました。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 19

SAP Central Business Configuration の組織構造アプリでは、会社ルートノードの下に次のどのエンティティを追加できますか？注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 植物
- B. 営業組織
- C. 除算
- D. 購買組織

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Central Business Configuration の組織構造アプリでは、ビジネスの業務領域と機能領域を反映する様々なエンティティを指定することにより、組織構造を定義します。会社ルートノードの下には、販売組織や購買組織などのエンティティを追加できます。

* 営業組織：商品およびサービスの流通と販売を担当する組織です。顧客との交渉、受注、流通など、販売活動の範囲を定義します。

会社ルートノードの下に販売組織を追加すると、SAP S/4HANA Cloud Public Edition 内での販売関連プロセスを管理および構成できるようになります。

* 購買組織：このエンティティは、購買条件の交渉、発注、商品の受領などの調達活動を管理します。会社ルートノードの下に購買組織を追加することで、システムは調達プロセス、ベンダー関係、購買分析を処理できるようになります。

これらのエンティティは、SAP S/4HANA Cloud Public Edition 環境内で組織がどのように動作するかを定義するために重要であり、ソフトウェアの機能と企業のビジネスプロセスの調整を容易にします。

質問: 20

アプリへの権限を付与するビジネスロールがユーザーに正しく割り当てられているにもかかわらず、SAP Fiori アプリが SAP Fiori Launchpad に表示されません。

どのようにトラブルシューティングしますか？注 :この質問には3つの正解があります

- A. ロールメンテナンス アプリを確認します。
- B. ロールの制限を確認します。
- C. ロールに割り当てられたビジネス カタログを確認します。
- D. ビジネス ロール テンプレートを確認します。
- E. ロールに割り当てられたスペースとページを確認します。

正解: **B,C,E** ([コメントを发表する](#))

ユーザーが正しいビジネスロールを持っているにもかかわらず、SAP Fiori アプリが SAP Fiori Launchpad に表示されない場合は、問題を効果的にトラブルシューティングするためにいくつかの側面を確認する必要があります。

* ロールの制限を確認する :ロールにアプリの表示を妨げる可能性のある制限が適用されていないか確認することが重要です。制限は、地理的な場所、部門、特定のユーザー属性など、さまざまな要因に基づいている可能性があります。

* ロールに割り当てられたビジネスカタログを確認してください。SAP Fioriのビジネスカタログには、特定のビジネス機能に関連するアプリのグループが含まれています。必要なビジネスカタログがロールに割り当てられていない場合、アプリはSAP Fiori Launchpadに表示されません。アプリの可視性を確保するには、カタログの正しい割り当てが不可欠です。

* ロールに割り当てられたスペースとページを確認する :SAP Fiori Launchpad にスペースとページが導入されたため、アプリを表示するスペースとページがユーザーのロールに正しく割り当てられていることを確認することが重要です。スペースは上位レベルのグループであり、実際のアプリはスペース内のページに格納されます。

質問: 21

SAP Central Business Configuration で必要な組織エンティティを定義するものは何ですか？

注記 :

この質問には2つの正解があります

- A. 選択されたデプロイメントターゲット
- B. 選択されたスコープ
- C. パートナーコンテンツを追加しました
- D. システム整合性チェック

正解: **A,B** ([コメントを发表する](#))

SAP Central Business Configuration に必要な組織エンティティは、選択したデプロイメントターゲットと選択したスコープによって定義されます。デプロイメントターゲットは、プロジェクトに含まれる SAP クラウドソリューション (SAP S/4HANA Cloud, public edition など) を指定します。スコープは、プロジェクトに含まれるビジネスプロセスと国/地域 (営業サービスやプロフェッショナルサービスなど) を指定します。

これらの選択により、会社、事業所、販売組織、プロジェクトユニットなど、基盤となるプロセスを実行するために必要な組織単位が決定されます。追加されたパートナーコンテンツとシステム整合性チェックは、組織エンティティを定義するのではなく、設定を拡張または検証します。参考資料 = SAP Central Business Configuration - 概要、5ページ; SAP Central Business Configurationの紹介 SAP Central Business Configurationでは、SAP S/4HANAに定義する必要がある組織エンティティは、

SAP S/4HANA Cloud Public Editionの導入は、導入対象の選択とスコープの選択という2つの主要な要素によって左右されます。導入対象とは、SAP S/4HANA Cloudを導入する特定の環境またはシステムを指します。この選択は、その環境の技術要件とビジネス要件に基づいて、必要な組織エンティティに影響を与える可能性があります。一方、スコープの選択は、企業がSAP S/4HANA Cloud内で使用することを意図しているビジネスプロセスと機能に関係します。

S/4HANA Cloud。これにより、スコープ対象のプロセスをサポートするために設定する必要がある組織構造 (会社コード、販売組織、購買組織など) が決まります。これらの要素はいずれも、構成がビジネスの運用ニーズと戦略目標を確実にサポートするために不可欠です。

質問: 22

SAP S/4HANA 移行コックピットでデータ保持期間はいつ指定しますか？

- A. プロジェクトのステータスが 完了」の場合
- B. プロジェクトのステータスが 進行中」の場合
- C. プロジェクトのステータスが 完了」の場合
- D. プロジェクトのステータスが 未開始」の場合

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANA移行コックピットで、プロジェクトのステータスが

完了」。データ保持期間とは、プロジェクトのステータスを 完了」に設定した後、プロジェクトとすべての関連データがシステムに保持される期間 (日数) です。データ保持期間を設定するには、データ保持期間」オプションを オン」に設定します。データ保持期間が経過すると、データはSAP S/4HANAシステムから削除されます。データ保持期間」オプションを オフ」に設定すると、プロジェクトとすべての関連データはシステムに無期限に保持されます。プロジェクト設定の 技術情報」タブで、完了したプロジェクトの保持期間を変更することもできます。参照：移行プロジェクト画面、SAP S/4HANAシステムへのデータ移行

質問: 23

SAP Central Business Configuration では、製品固有の設定中にどのアクティビティを実行できますか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 承認しきい値を変更します。
- B. 新しい販売組織を追加します。
- C. 新しいスコープ項目を作成します。
- D. 課金をブロックする理由を追加します。
- E. ビルディング ブロックを変更します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 24

SAP Central Business Configuration では、製品固有の設定フェーズでどのアクティビティを実行できますか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 新しい販売組織を追加します。
- B. 新しいスコープ項目を作成します。
- C. ビルディング ブロックを変更します。
- D. 承認しきい値を変更します。
- E. 課金のブロック理由を追加します。

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Central Business Configuration 内の製品固有の設定フェーズでは、特定のビジネスニーズを満たすように SAP S/4HANA Cloud システムをカスタマイズするためのいくつかの重要なアクティビティを実行できます。

* 新しい営業組織の追加 :この作業には、システム内に新しい営業組織を設定し、営業部門の構造を定義し、会社の営業戦略と営業地域との整合性を図ることが含まれます。この設定は、営業プロセス、顧客関係、そして営業レポートの管理に不可欠です。

* 承認しきい値の変更 : 承認しきい値の変更は、様々な取引の承認限度を調整し、承認プロセスが会社の内部統制およびガバナンスポリシーに準拠していることを保証するための重要な設定作業です。これには、発注書、経費承認、その他の財務取引ごとに異なるしきい値を設定することが含まれます。

* 請求処理のブロック理由の追加 :この設定アクティビティにより、請求書処理をブロックする具体的な理由を定義し、問題が解決されるまで特定の状況下では請求処理が続行されないようにすることができます。これは、正確でコンプライアンスに準拠した請求プロセスを維持するために不可欠です。

これらのアクティビティは、SAP S/4HANA Cloud システムをビジネスの特定の運用ニーズに合わせてカスタマイズし、ソフトウェアが企業独自のプロセスとポリシーをサポートすることを保証する詳細な構成作業の一部です。

質問: 25

SAP S/4HANA のどのレイヤーが、さまざまなアプリケーション間でデータを読み取って処理するための共通言語を提供しますか?

- A. コアデータサービス
- B. SAP フィオリ
- C. SAP HANA
- D. SAP ビジネススイート

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 26

KPI とレポートの管理アプリから作成できる分析は次のどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. レビューブックレット
- B. オブジェクトビュー
- C. 多次元レポート
- D. Lumiraダッシュボード
- E. SACストーリー

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 27

リリースアップグレード後に顧客が SAP S/4HANA Cloud システムを保守しやすくするために、SAP はどのようなツールを提供していますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. SAP Signavio プロセスナビゲータツール
- B. 新機能ビューアツール
- C. テスト自動化ツール
- D. リリース評価とスコープ依存関係ツール

正解: ([正解を表示します](#))

SAP は、リリースアップグレード後の SAP S/4HANA Cloud システムのメンテナンスを容易にし、顧客が最新の機能や改善にスムーズに移行できるようにするためのツールをいくつか提供しています。

* What's New Viewerツール :このツールは、SAP S/4HANA Cloudの各リリースで導入された変更点や新機能を理解する上で非常に役立ちます。新機能、改善点、システムの変更点について詳細な説明が提供され、お客様がプロセスを適応させ、新機能を効果的に活用できるよう支援します。各アップグレードに伴う機能強化の詳細を確認し、理解するためのガイドとして役立ちます。

* テスト自動化ツール :アップグレード後は、既存の機能が期待どおりに動作し、新機能が正しく実装されていることを確認することが重要です。テスト自動化ツールを使用すると、ビジネスプロセスのテストを自動化できるため、リリースアップグレード後のテストに必要な時間と労力を大幅に削減できます。このツールは、アップグレードによって発生する問題をプロセスの早い段階で特定し、新しいリリースへのスムーズな移行を実現します。

これらのツールは、システム アップグレードの複雑さをお客様が理解できるように設計されており、既存のシステムの安定性とパフォーマンスを維持しながら、新機能を最大限に活用できるようにします。

質問: 28

どの展開モデルにおいて、アプリケーション管理は顧客の責任となりますか？ 注:

この質問には3つの正解があります。

- A. サービスとしてのプラットフォーム
- B. サービスとしてのソフトウェア
- C. サービスとしてのインフラストラクチャ
- D. オンプレミス
- E. プライベートクラウド

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 29

Cloud Integration Automation Service (CIAS) を起動できるアプリケーションはどれですか？ 注:

この質問には正解が2つあります。

- A. 私のためのSAP
- B. SAP ビジネスアクセラレータハブ
- C. SAP クラウド ALM
- D. SAP Signavio プロセス ナビゲーター

正解: A,C ([コメントを发表する](#))

質問: 30

ビジネス ロールとビジネス カタログの関係をどのように定義できますか？

- A. ビジネス ロールは、1 つ以上のビジネス カタログのコレクションです。
- B. ビジネス カタログは、1 つ以上のビジネス ロールのコレクションです。
- C. ビジネス カタログは、1 つ以上のビジネス ロールへのアクセスを制限します。
- D. ビジネス ロールは、1 つ以上のビジネス カタログへのアクセスを制限します。

正解: A ([コメントを发表する](#))

ビジネスロールは、ビジネスタスクへのアクセス権限を提供するためにビジネスユーザーに割り当てられます。ビジネスロールには、SAPによって事前定義された1つ以上のビジネスカタログを含めることができます。ビジネスカタログには、カタログに含まれるアプリへのアクセス権限が含まれています。各ビジネスカタログには、特定のビジネス領域に対する権限がまとめられています。ビジネスニーズやコンプライアンス要件に応じて、アクセス権限をカスタマイズできます。参考資料 :ソリューションプロセスに必要なビジネスロールとビジネスカタログの検索、本番環境向けビジネスロールの定義、ビジネスロールとカタログ

質問: 31

顧客向けに SAP S/4HANA Cloud Public Edition を実装するために使用されるシステムはどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. サンドボックスシステム
- B. テストシステム
- C. トライアルシステム
- D. スターターシステム
- E. 開発システム

正解: ([正解を表示します](#))

有効的なC_S4CPB_2508問題集はJPNTTest.com提供され、C_S4CPB_2508試験に合格することに役に立ちます！JPNTTest.comは今最新C_S4CPB_2508試験問題集を提供します。JPNTTest.com C_S4CPB_2508試験問題集はもう更新されました。ここでC_S4CPB_2508問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセス、https://www.jpntest.com/shiken/C_S4CPB_2508-mondaishu 60問、30%ディスカウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」

質問: 32

リリースアップグレード後にはどのような種類のテストを行う必要がありますか?

- A. 統合テスト
- B. 文字列テスト
- C. ユーザー受け入れテスト
- D. 回帰テスト

正解: ([正解を表示します](#))

回帰テストは、リリースアップグレード後に実施する必要があるテストの一種です。回帰テストは、システムの既存の機能が新しいリリースで導入された変更の影響を受けないことを確認するために実施されます。回帰テストは、リリースアップグレードによって導入または発見された可能性のある欠陥やエラーを特定するのに役立ちます。回帰テストは品質保証プロセスの一部であり、システムの安定性と信頼性を確保するために不可欠です。参考資料 = SAP S/4HANA Cloud, Public Edition - すべてのラーニングジャーニー | SAP Learning -> SAP S/4HANA Cloud Public Editionの実装 -> ユニット5: 品質保証 -> レッスン: 回帰テストの実行

質問: 33

SAP Central Business Configuration でデプロイメント ターゲットを割り当てましたが、スコープの確認マイルストーンはまだ完了していません。

次のタスクのうち、どれを完了できますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. デプロイメント ターゲットの名前を変更します。

- B. グループ通貨を定義します。
- C. 別のデプロイメント ターゲットを割り当てます。
- D. 会社コードを作成します。

正解: **A,C** ([コメントを发表する](#))

「スコープ設定の確認」マイルストーンを完了する前に、SAP Central Business Configuration でデプロイメントターゲットの名前を変更したり、別のデプロイメントターゲットを割り当てたりすることができます。これにより、コンテンツの初期デプロイメントに使用するシステムテナントを変更できます。ただし、スコープ設定を確認する前にグループ通貨の定義や会社コードの作成を行うことはできません。これらは、デプロイメント済みのシステムを必要とする設定アクティビティであるためです。参照 = デプロイメントターゲット、デプロイメントターゲットの割り当て

質問: 34

最初の Fit-to-Standard ワークショップの前にコンサルタントはどのような活動を行いますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 移行テンプレートを使用して、スターター システムに顧客マスター データをアップロードします。
- B. デジタル検出評価から収集された統合要件を確認します。
- C. 作業明細書/デジタル検出評価の一部ではない範囲項目を非アクティブ化します。
- D. L2 ビジネス主導構成アンケートの回答を評価します。

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 35

SAP S/4HANA Cloud Public Edition を別の SAP パブリッククラウドソリューションと統合するには、どのテクノロジーを使用する必要がありますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. SAP クラウド コネクタ
- B. 事前配信されたAPI
- C. SAPプロセスオーケストレーション
- D. SAP統合スイート

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 36

SAP Fiori Launchpad で利用できる組み込みサポート オファリングはどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. SAP Learning ウェブサイトからの録画されたウェビナー
- B. 生成AIによるデジタルアシスタンス (SAP Joule)
- C. SAP Learning Hubからの評価問題
- D. ラーニングセンターから記録されたシステムシミュレーション
- E. SAP ヘルプポータルのビデオチュートリアル

正解: ([正解を表示します](#))

SAP Fiori Launchpadには、ユーザーがより効率的にタスクを習得し、実行できるよう支援する組み込みサポートサービスが提供されています。これらのサービスには以下が含まれます。

* ジェネレーティブAIによるデジタルアシスタンス (SAP Joule) これは、ユーザーの質問に答え、ガイダンスを提供し、自然言語でタスクを実行できる会話型AIアシスタントです。SAP Jouleは、SAP Fiori Launchpadの右上隅にあるヘッドフォンアイコンを選択し、チャットオプションを選択することでアクセスできます。

* ラーニングセンターから録画されたシステムシミュレーション :SAP S/4HANA Cloudシステムにおける一般的なタスクやシナリオの実行方法をユーザーに示すインタラクティブなチュートリアルです。SAP Fiori Launchpadの右上にある疑問符アイコンを選択し、卒業帽アイコンを選択することで、シミュレーションにアクセスできます。シミュレーションはSAP Enable Nowツールで作成され、必要に応じてお客様がカスタマイズできます。

* SAPヘルプポータルビデオチュートリアル :SAP S/4HANA CloudシステムとSAP Fiori Launchpadの機能を説明する短いビデオです。SAP Fiori Launchpadの右上にある疑問符アイコンを選択し、メガホンアイコンを選択すると、ビデオにアクセスできます。ビデオはSAPヘルプポータルのウェブサイトでもご覧いただけます。

その他のオプションは、SAP Fiori Launchpad に組み込まれたサポートサービスではありません。SAP Learning Web サイトの録画済みウェビナーと SAP Learning Hub の評価問題は、ユーザーが SAP Fiori Launchpad とは別にアクセスできる外部学習リソースです。参考資料 = 組み込みサポート機能と Joule Generative AI Assistant の使用 > 組み込みサポート機能と Joule Generative AI Assistant の使用 > SAP Fiori Launchpad 組み込みヘルプとサポート。SAP S/4HANA Cloud 向け SAP Fiori Launchpad > SAP Fiori Launchpad > SAP Fiori Launchpad とは？ SAP Fiori Launchpad - 概要 > サービス。

質問: 37

特定のオブジェクトのデータを移行する前に必須のタスクは何ですか？ 注: この質問には2つの正解があります。

- A. これまでの移行プロジェクトはすべて「完了」ステータスになっています
- B. データを移行する権限が割り当てられました
- C. 先行オブジェクトは移行されました
- D. 他のオブジェクトで以前に使用したのと同じ移行方法を選択します

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 38

既知の統合の初期リストはどこに文書化されていますか？

- A. ビジネス主導構成アンケート
- B. SAP Cloud ALMでは
- C. デジタルディスカバリー評価において
- D. 標準適合ワークショップ

正解: ([正解を表示します](#))

既知の統合の初期リストは、ビジネスドリブン構成質問票 (BDCQ) に記載されています。BDCQは、SAP S/4HANAのビジネス要件とスコープを把握するのに役立つツールです。

/4HANA Cloud Public Editionプロジェクト。組織構造、マスターデータ、構成設定、統合シナリオなど、ビジネスプロセスのさまざまな側面を網羅する一連の質問が含まれています。BDCQでは、プロジェクト12におけるベストプラクティスと推奨事項に関するガイドンスも提供されます。

BDCQのセクションの一つである「統合」では、プロジェクトに関連する既知の統合の初期リストを文書化できます。「統合」セクションには、システム間プロセス統合、データレプリケーション、データ移行、サードパーティ統合など、実現したい統合シナリオに関する質問が含まれています。また、「統合」セクションでは、SAP Cloud Platform Integration、SAP API Business Hub、SAP Cloud ALM13といった利用可能な統合オプションに関する情報も提供されます。

既知の統合の初期リストは、プロジェクトの計画と実行において考慮する必要がある統合要件、依存関係、リスクを特定する際に役立つため、プロジェクトにとって重要です。また、適切な統合ツールと手法を選択し、統合スコープをSAP S/4HANA Cloud Public Editionのロードマップとリリースサイクル13に合わせる際にも役立ちます。

したがって、既知の統合の初期リストはBDCQに記載されているため、正解はAです。参考資料 = 1 ビジネス主導型設定質問票 - SAPヘルプポータル 2 ビジネス主導型設定質問票 - SAPコミュニティ 3 SAP S/4HANA Cloud Public Edition統合 - SAPヘルプポータル

質問: 39

SAP S/4HANA Cloud Public Edition で SAP Fiori Communication Management アプリを使用して統合シナリオを構築する場合、何を作成する必要がありますか? 注: この質問には2つの正解があります。

- A. 通信インターフェース
- B. 通信API
- C. 通信システム
- D. 通信の取り決め

正解: C,D ([コメントを发表する](#))

質問: 40

SAP Best Practices コンテンツが利用できない場合、パッケージ化された統合コンテンツはどこにありますか?

- A. SAP Fiori アプリ リファレンス ライブラリ
- B. SAP 拡張性エクスプローラー
- C. SAP BTP コックピット
- D. SAP ビジネスアクセラレータハブ

正解: ([正解を表示します](#))

質問: 41

SAP S/4HANA Cloud Public Edition で SAP Fiori Communication Management アプリを使用して統合シナリオを構築する場合、何を作成する必要がありますか? 注: この質問には 2 つの正解があります。

- A. 通信インターフェース
- B. 通信システム
- C. 通信の取り決め
- D. 通信API

正解: ([正解を表示します](#))

SAP S/4HANAでSAP Fiori Communication Managementアプリを使用して統合シナリオを構築する場合

/4HANA Cloud Public Edition を使用する場合は、通信システムと通信の取り決めを作成する必要があります。

通信システムは、通信における通信相手（例えば、サービスを呼び出したり提供したりするシステム）を表します。通信契約は、認証方法、通信ユーザー、サービスURLなど、特定の通信シナリオの設定を定義します。

SAP Fiori ラウンチパッドでこれらのオブジェクトを作成および管理するには、通信システムアプリと通信契約アプリを使用できます。参照 = 通信管理の設定 - SAP Learning、SAP Best Practices 統合の設定 - SAP Learning、SAP S/4HANA での統合の設定
/4HANAクラウドパブリックエディション

質問: 42

SAP S/4HANA Cloud スターターシステムでのコンテンツ展開中に、リード構成エキスパートが実行するアクションは次のうちどれですか? 注: この質問には 3 つの正解があります。

- A. 主な財務設定を確認する
- B. スコープを定義する
- C. 主要な物流設定を確認する
- D. ワークスペースを1つ作成する
- E. 2つのワークスペースを作成する

正解: ([正解を表示します](#))

有効的なC_S4CPB_2508問題集はJPNTest.com提供され、C_S4CPB_2508試験に合格することに役に立ちます！JPNTest.comは今最新C_S4CPB_2508試験問題集を提供します。JPNTest.com C_S4CPB_2508試験問題集はもう更新されました。ここでC_S4CPB_2508問題集のテストエンジンを手に入れます。最新版のアクセ

ス、https://www.jpntest.com/shiken/C_S4CPB_2508-mondaishu 60問、30%ディスカ
ウント、特別な割引コード: **JPNshiken**」